

職員による自己評価

A 業務改善

・お子さんに合わせた目標やねらいを確認する時間を設けている。反省点や改善点を出し合い年度末に活動の見直しを行っている。人事考課制度など法人全体で職員が参加できる体制を整えている。

B 児童への支援内容

・保護者の困り感を聞き取った上で、クラスの支援を作るようにしている。職員間のミーティングや支援方針会議など複数の職員で検討している。

C 関係機関との連携

・園と電話、訪問で情報交換をし支援を確認する機会を作ることができた。今後、ますますの充実を図る予定である。

D 保護者への説明責任等

・契約、個別支援計画について丁寧な説明を行っている。全職員ができるように進めている。

E 非常時等の対応

・緊急時マニュアル等は西部地域療育センターに準じているが事業所独自のマニュアルを整備している。疾患、アレルギー等の把握はアンケートによって把握している。利用者への避難経路の説明や身体拘束適正化について対応を進めている。

保護者による評価

A 適切な支援の提供

・個別支援計画に沿った支援については、満足であり、その日のねらい（目的）の説明があることもよい。しかし、発語と発達の遅れを心配しているので子どもに合った支援とは思えないという意見もいただいた。

B 保護者への説明等

・丁寧に説明されたとの意見が多かったが「いいえ」と答える意見もあった。また、隔週で子どもの相談ができた。雑談等で保護者同士と意思疎通が図れているとの意見をいただいた。しかしクールの最後に面談があっただけなので、日頃からというわけではなかったとの意見もいただいた。

C 非常時等の対応

・初回到丁寧に説明があったという意見の反面「よくわからない」という意見もあった。

D 満足度

・子どもと向き合ってくれ、少しずつ成長を感じるという意見をいただいたが、3か月のクール終了後の方向性の支援が薄いという意見が複数あった。見通しを立てる支援をしてほしい、もう少し踏み込んだ意見を出してほしいという貴重な意見もあり今後の支援の充実にむけ検討していく必要がある。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ニーズに合った個別支援計画が作成され、良い発達につながっている。
- ・保護者への説明の丁寧さ心がけたことで満足度が高まっている。
- ・保護者プログラムで分離した場合は、子どもの様子をきちんと伝えられている。
- ・保護者プログラムは保護者同士の意見を聞ける場でもあり勉強になっている。
- ・保護者同士の懇談ができる時間を設定することはむずかしい。

【相違点】

- ・保護者懇談会の時間を設定したが時間が短いため満足度につながっていない。
- ・最後の面談だけでは、子どもの状態の共通理解にならない。
- ・プログラム終了時に、振り返る時間を作り細かな心配ごとにも相談しやすい
- ・3ヶ月で終了、後はご自身でだと心許ない感じがする。民間の療育の利用であったり、地域療育センターの紹介であったりも、時間内で保護者に説明があったほうがよい。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・保護者学習会  
年齢に合わせてシリーズ化した早期療育、初期療育の場面で、保護者学習会を実施している。
- ・低年齢から実施する早期療育  
家庭生活において適応力向上につながる療育を展開できる。
- ・たくさんのお子さんに対応  
クール制のため期間は短くなるが、たくさんのお子さんが利用できる。
- ・職員集団が小規模なため少しの時間を利用してスタッフミーティングができる。
- ・川崎市専門相談と協働し支援の充実が図れる。

### 事業所の改善点

- ・保護者と職員のコミュニケーションについて  
利用にあたっての説明は満足度が高かったが個別の不安や心配に合わせた相談の充実が必要である。また、最近の様子はどうですか等の日常のコミュニケーションを求める意見が複数あったことから日頃から保護者とのコミュニケーションを充実させる必要がある。
- ・クラス運営について  
新しいあそびやプログラムが満足度を高めており、また毎日のねらい（目的）の説明を充実させたため保護者の受け止めは良好であった。しかしクール終了後のサポートに不満があり、移行支援を含め方向性への道標となるような支援の充実が必要である。
- ・保護者プログラム  
プログラムへの満足度は高評価をいただけたが、保護者同士の懇談が少ないことの見解があり検討が必要である。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

貴重なご意見をいただき光栄に思います。利用者サービスの質の向上のため、常に向上心を持って進んでまいります。川崎市とともに新たな発達支援の体制がスタートしました。試行錯誤の部分もありますが初期に行う発達支援については川崎西部地域療育センターの初期療育をベースにしています。

「新たな体制整備」「保護者とのコミュニケーションの充実」をキーワードとして、当事業所の利用者と地域のための優しさあふれる発達支援の向上に努めてまいります。ありがとうございました。